

議会の今を伝える

2015. 2. 1 No.36

編集：議会だより編集委員会 印刷：有限会社 利根印刷所
 発行：沼田市議会議長 大竹 政雄
 〒378-8501 沼田市西倉内町780
 TEL:0278-23-2111 FAX:0278-22-6333

沼田市 議会だより



土地・建物の全てを沼田市が取得し、今後の有効な利活用が期待されるグリーンベル21

10月・11月臨時会・12月定例会号

10月と11月に開催された臨時会では、土地及び建物の取得及び条例3件、補正予算5件が市当局より提出され、全て原案可決となりました。

12月定例会は、12月2日に招集され、12日までの11日間の会期となりました。付議案件は、市当局から報告1件、条例5件、補正予算8件、その他3件、合計17件が提出され、全て原案可決、承認となりました。

議会からは、請願2件、条例1件、意見書2件が提出され、採択及び原案可決となりました。

議会の概要

議会日程表

第5回臨時会			
10/27	本会議	開会 提案理由の説明 質疑・討論・採決	閉会
第6回臨時会			
11/20	本会議	開会 提案理由の説明 質疑・討論・採決	閉会
第7回定例会			
12/ 2	本会議	開会 提案理由の説明 質疑・討論・採決	
12/ 4	本会議	一般質問 (4人)	
12/ 5	本会議	一般質問 (4人)	
12/ 8	本会議	一般質問 (2人)	
12/ 9	委員会	総務文教常任委員会	
12/10	委員会	民生福祉常任委員会	
12/11	委員会	経済建設常任委員会	
12/12	本会議	委員長報告 提案理由の説明 質疑・討論・採決	閉会



グリーンベル21について
台湾との交流について

久保 健二 議員

Q1 グリーンベル21の活用に向けた検討状況はどうなっているのか。また、いつまでにとりまとめるのか伺います。

A1 今後の活用については、市内での検討に加え、外部専門家や事業者などの意見も取り入れ、商業機能の回復と公共サービスの展開による複合的な利用を図るための課題や行程を明確にし、早期に賑わいを取り戻せるよう、対応していく考えです。

Q2 市民の意見を広く聞くとしているが、どのような手法で行うのか伺います。

A2 ビルの安定的な運営に欠か

すことのできないテナントの誘致なども並行して進め、必要の都度、議会をはじめ、市民の皆様にもその内容を説明し、意見を伺いながら、早期の再生に向かっ

Q3 児童館や室内で遊ばせられる施設を設置を期待する声に比べるとしたら、グリーンベル21が候補にあたると思います。子ども広場の移転・拡充について検討されているのか伺います。

A3 子ども広場は、年々増加する利用者に対応するため、今年度、新たな場所を選定し移転拡

充する計画となっており、現在、先進地の事例等を調査するなど検討を行っているところです。

移転先については、グリーンベル21も選択肢のひとつと考えていますので、関係機関や利用者のご意見を伺いながら検討していく考えです。

Q4 本市と台湾の交流による相互発展の可能性についてどのように考えているのか伺います。

A4 人口減少などを理由に国内観光消費額が伸び悩む中、海外からの観光客誘致について、政府は、「外国人旅行者訪日促進戦略」を掲げ、海外への訪日宣

伝活動を推進しています。

本市でも、台湾をはじめとする観光客誘致について検討していきたいと考えています。

Q5 台湾紅茶の神様と言われる新井耕吉郎氏の出身地であることや本市の観光資源を生かすべきと考えますが、市長のお考えを伺います。

A5 新井耕吉郎氏は、現在でも尊敬すべき日本人の一人に挙げられており、大きなセールスポイントになると考えています。

迦葉山の赤い天狗面や吹割の滝等の観光資源と併せて、効果的にPRしていく考えです。



杉田大吉氏より寄贈の沼田城

グリーンベル21の総合的な活用について
沼田公園の整備について
観光客の誘客を図る施策について

野村 洋一 議員

Q1 グリーンベル21の官民の複合施設としての具体的な活用について伺います。

A1 老朽化した公共施設の再整備が課題とされる中において、中心市街地という立地の特性を生かし、商業などの民間サービスと公的な機能を併せ持った複合的な活用を図ることが望ましいと考えており、具体的な活用方法については、市内で検討を進めています。

Q2 グリーンベル21を利活用していくのに駐車場スペースが足りないが、どのような対応策を検討しているのか伺います。

A2 必要な駐車台数は確保されていると認識しており、利用しやすい駐車場のあり方についても一体的に検討します。

Q3 本町通りの空き店舗の利活用で、店舗の所有者が安心して賃貸できる仕組みについて伺います。

A3 関係団体と連携を図りながら、起業に向けた空き店舗改装費等の助成制度など、店舗の所有者と起業者が安心して賃貸できる仕組み作りを検討します。

Q4 沼田城の復元と公園の駐車場整備について伺います。

A4 平成4年度に策定した沼田

公園長期整備構想から20年以上が経過し、財政状況や本市を取り巻く社会環境が大きく変化する中、将来を展望して、どのような道筋に進めていくべきか、また十分な歴史的、文化財的な精査を含めた総合的な検討が必要であり、市民のご理解があつて進められるものと認識しております。

駐車場も沼田城の復元と併せて総合的に検討します。

Q5 6次化センターを河岸段丘ビュースポットに併設し、観光客の誘客を図る、沼田市独自のアイデアを盛り込んだ施設の整備が望まれると思いますが、市

長のお考えを伺います。

A5 6次化センターは、農産物の有効活用、雇用の創出及び所得の向上を図るための施設と期待するものでありますが、本市の農産物を活用した加工品の研究、開発を進める中で総合的に検討しています。

河岸段丘は沼田市の特徴的な景観として、観光誘客にも役立つものと認識しており、望郷ラインにビューポイントを整備したところですが、1千万人を超える観光客の回遊性を高め、沼田に立ち寄っていただけるよう、さらに研究していく考えです。



市民スキー教室の様子

小中学生に対する
ウィンタースポーツの普及と振興について

高山 敏也 議員



災害時における応急対策活動に関する協定書調印式

災害時の被害予測と減災対策について
地方創生を活用した雇用創出について
教育環境について

坂庭 直治 議員

Q1 市民に対するウィンタースポーツ（スキー等）の普及・振興について、利根郡町村、またスキー場とどのような連携・協力をとっているのか伺います。

A1 スキー人口は、平成5年に1,900万人、現在では800万人を下回っていますが、玉原スキー場からは、スキーリフト優待券を配布していただき、また、16のスキー場と4観光協会、利根沼田地区スキー場広報宣伝協議会を、利根沼田エリアの情報発信とスキー人口の増加を目指した広報活動を行っています。

Q2 本市では、冬季観光事業としてウィンタースポーツは大変重要なものと考えますが、現状の取り組みと今後の事業展開について伺います。

A2 冬の重要な観光資源と認識しており、観光キャンペーンや銀座ぐんまちゃん家でのサロンD、ググつとぐんま観光キャンペーン等でPRを行っています。

Q3 県内の小中学校のウィンタースポーツに対する取り組み状況について伺います。

A3 平成24年度のスキー教室実施状況調査の結果では、スキー

Q4 スキーは、大変楽しく、触れる機会さえあれば、ほとんどの人が、とりわけ子供は好きになります。

沼田市内の小中学校におけるスキー教室の実施状況について伺います。

A4 平成25年度にスキー教室を実施した小中学校は、小学校4校、中学校2校でした。近くにスキー場がある地域特

Q5 本市小中学生に対するウィンタースポーツの普及と振興の方策について伺います。

A5 スキー教室を実施している学校は、「沼田大好き！ふるさと学習」の構想の中にスキー教室を位置づけて実施しています。スキー教室は沼田市の地域特性を生かした価値ある活動の一つであることを、改めて確認していきたいと考えています。

Q1 災害発生時の被害予測と減災対策について伺います。

A1 震度5弱以上の地震による大規模な災害が発生し、またはそのおそれがある場合には、災害対策本部を設置するとともに、災害応急対策を実施するために必要な情報収集を行い、関係機関へ報告し、迅速な対応を図ることとなっています。

大雨等による重大な災害への対応は、前橋地方気象台から大雨警報等が発表され、それに関連した気象情報などの詳細な情報が、県危機管理室を通じて、随時防災対策課に伝達されています。

Q2 森林整備や林業振興による地方創生を活用した雇用創出について伺います。

A2 林業は、育林や除・間伐などの積極的な実施や担い手育成などに引き続き取り組む必要があると考えています。

Q3 小学校通学区域の見直しについて伺います。

A3 近年では、統廃合に係る沼田市教育機関の適正配置及び設置に関する審議会の答申に基づいた見直しが行われてきました。通学区域については、地域の

また、ジビエ料理の普及・拡大を図り、鳥獣被害対策や環境保全につなげ、地域の活性化につなげようと活動している団体もありますが、現在でも放射性物質の基準値を超えるものが確認されており、今後の推移を見守りながら、慎重に対応することが必要であると考えています。

Q4 中学校部活動の維持について伺います。

A4 今年5月1日の生徒数は1,462人で、各部の維持・運営も年々厳しく、学校によっては実施できる部の種類も限られている状況にあります。

皆さんのご意見を伺いながら、対応していく必要性があるのではないかと考えています。

本市では、教育部活と称して、部活動を道徳教育の実践の場として捉えています。各学校の実情に応じて、適切な活動を組織すれば、教育目的の達成は可能と考えています。



沼田公園内の沼小講堂記念体育館

**コンパクトシティ
について
まち・ひと・しごと
創生法について
沼田公園内の体育
施設について**

石川 初雄 議員

Q1 20年、30年後の人口減に対応する、まちなか居住の推進やサービス機能の集約について対応する、コンパクトなまちづくりについて伺います。

A1 高齢者等の交通弱者が日常生活を送るうえで、安心して生活するためには、まちなか居住の推進やサービス機能の充実を図り、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりへの取り組みが必要であると考えており、居住環境の整備と商業活力の向上を目的に中心市街地のまちづくり事業を進めています。

Q2 森林文化都市の核にふさわしい、魅力とにぎわいのある中心市街地のあり方等を伺います。

A2 にぎわいの核・やさしさの核の整備を計画し、「やさしさ」とにぎわいに出会える街」をコンセプトに取り組んでおり、上之町に生方記念文庫及び旧沼田貯蓄銀行の整備を進め、天狗ブラザとともに市民が集える施設として計画しております。また、西の核となるグリーンベル21を複合施設として再生し、魅力とにぎわいのある中心市街地の活性化につなげます。

Q3 旧沼田市、白沢町、利根町を核とした整備等を伺います。

A3 沼田地区に行政や医療・福祉、商業等の拠点を集約し、その大きな拠点と、白沢町や利根町をはじめとする周辺地域の小さな拠点を結ぶネットワーク化を進めることを検討します。

Q4 まち・ひと・しごと創生法について本市の対応を伺います。

A4 今後策定される国及び県の総合戦略を勘案し、本市の実情に応じた基本的な計画として、総合戦略を策定していきます。

Q5 地域特産品の販路開拓への支援について伺います。

A5 ブランド化の推進による高付加価値化とホームページ等による情報発信により認知度の向上を図るとともに、小売り事業者やネット事業者等との連携による新たな販路開拓を図るための支援等についても研究していきたいと考えています。



工事中の利根中央病院

**新年度予算編成について
国民健康保険について
学童保育所について
地域医療について**

大東 宣之 議員

Q1 新年度予算の重点施策をどう考えているのか伺います。

A1 現下の社会・経済情勢及び本市の財政状況を再認識し、行財政改革を強力に推し進め総体的なスリム化を図るとともに、「心豊かな暮らしを実感できるまちづくり」、「地域のポテンシャルを活かした活力あるまちづくり」、「誰もが知恵を出し合い地域を大切にするまちづくり」の3項目を柱として、市民との連携・協働のもと、創造性豊かな明るく元気なまちづくりに取り組んでいく考えです。

Q2 国民健康保険の財政状況と

市民負担の状況についての考え方を伺います。

A2 国民健康保険会計では、これまで基金の取り崩しなどにより、財源の調整を図ってきたところですが、その基金も底をついていくことから、今後は、医療費の推移と財源の状況を注視しながら対応していきたいと考えています。

Q3 学童クラブの施設整備についてどのように考えているのか伺います。

A3 学童クラブの施設整備は「地域子ども・子育て支援事業」のひとつとして位置づけられていますので、条例に定めた基準に基づき今後も事業の充実に努めていきたいと考えています。

Q4 産婦人科医師の確保について何らかの取り組みを行うのか伺います。

A4 市長会及び利根地方総合開発協会等を通じて国及び県へ働きかけを行い、さらに、利根沼田広域市町村圏振興整備組合より関係機関へ要望書を提出するとともに状況把握に努め、推移を見守っているところです。

Q5 小児救急の状況とこれからの対策について何か考えているのか伺います。

A5 本市は、地勢的な状況から、利根沼田圏域内で医療が完結できることが望ましいと考えられますので、小児科医師の確保につきましても、従来から関係機関へ要望等行ってきました。今後も引き続き、関係自治体と連携し、地域医療体制の維持確保に向け取り組む考えです。



子育てフェスタの様子

**新年度予算編成について
人口減少対策について
結婚支援事業の取り組みについて**

石井 紘一 議員



白沢農産物収穫感謝祭

**地域自治区について
地域行事の存続について
教育諸問題について
教育支所の組織機構について**

宇敷 和也 議員

Q1 新年度予算編成にあたり、市長としての重点施策について伺います。

A1 平成27年度予算は、新たな施政方針のもと、引き続き本市の財政構造に留意し、行財政改革を推し進め総体的なスリム化を図るとともに、市の重点施策として「心豊かな暮らしを実現できるまちづくり」、「地域のポテンシャルを活かした活力あるまちづくり」、「誰もが知恵を出し合い地域を大切にすまちなづくり」の3項目を柱として、市民との連携・協働のもと、創造性豊かな明るく元気なまちなづくりを実現してまいります。

Q2 明日の沼田をつくる「元気みらい創造枠」の内容について伺います。

A2 沼田市においても人口減少・超高齢社会という危機的な現実を直視しつつ、地域の活性化を図るため、国が主導する「ひと・まち・しごと創生本部」及び「地域の元気創造プラン」に呼応して明日の沼田をつくる「元気みらい創造枠」を新設したものです。

Q3 人口減少対策について伺います。

A3 本市にとっても人口減少対策は非常に重要な課題であると認識し、人口減少問題に対する危機感を庁内全体で共有し、各分野から多様な視点で対策を講ずる必要があるとの考えから、庁内に人口減少対策ワーキンググループを設置し、現在、あらゆる角度・視点から形式や既定概念にとらわれず、調査及び研究を行っているところです。

平成27年度予算においては、明日の沼田をつくる「元気みらい創造枠」を新設し、人口減少対策に取り組む考えですが、国・県の動向等も注視しながら、国

の定める総合戦略の策定に向けて全庁的に取り組んでいきたいと考えています。

Q4 結婚支援事業の取り組みについて伺います。

A4 多様化する生活様式や個人の価値観の変化により、晩婚化が進んでいる状況であり、生涯未婚率も上昇傾向にあることから、出会いの場の提供による結婚の増加、結婚を機とした本市への定住、出生率の向上も期待できることから、結婚支援事業につきましても、他の自治体の例も参考にしながら、検討していきたくと考えています。

Q1 地域自治区としての地域内分権の今後のあり方や考え方について伺います。

A1 地域内分権とは、それぞれの地域が、固有の地域特性を生かした地域振興が図られるよう、地域の自治力を醸成・強化し、住民自らが自主的にまちなづくりを進め、自主自立を目指すものであると認識をしています。

Q2 支所業務の内容について伺います。

A2 支所では、地域コミュニティの推進、住民自治支援業務、消防団分団事務、住民生活に直結した各種窓口業務、施設維持

管理業務等を、更に利根町にあつては過疎対策や集落維持等及び観光振興のために必要な地域特有な業務を取り扱う考えです。できる限り地域住民の皆さんが不安を感じることはないよう対応していく考えです。

Q3 地域行事の存続について伺います。

A3 伝統・文化などの地域特性を生かした地域振興を図ることは大切であると考えています。

そのためには、地域の自治力を醸成・強化し、地域住民の皆さん自らが自主的にまちなづくりを進め、そのまちなづくりを市が

くりに取り組んでいきたいと考えています。

Q2 明日の沼田をつくる「元気みらい創造枠」の内容について伺います。

A2 沼田市においても人口減少・超高齢社会という危機的な現実を直視しつつ、地域の活性化を図るため、国が主導する「ひと・まち・しごと創生本部」及び「地域の元気創造プラン」に呼応して明日の沼田をつくる「元気みらい創造枠」を新設したものです。

Q3 人口減少対策について伺います。

A3 本市にとっても人口減少対策は非常に重要な課題であると認識し、人口減少問題に対する危機感を庁内全体で共有し、各分野から多様な視点で対策を講ずる必要があるとの考えから、庁内に人口減少対策ワーキンググループを設置し、現在、あらゆる角度・視点から形式や既定概念にとらわれず、調査及び研究を行っているところです。

平成27年度予算においては、明日の沼田をつくる「元気みらい創造枠」を新設し、人口減少対策に取り組む考えですが、国・県の動向等も注視しながら、国

を支援することが、望ましい姿であると考えています。

Q4 利根町3小学校統合における今までの経過と、今後の進め方について伺います。

A4 「利根町小学校の適正規模及び適正配置の具体的方策について」の答申を受け、10月24日、「利根町小学校の統廃合に係る基本方針」を決定し、11月に各学校区ごとに地域説明会を開催してきました。

今後は、来年1月に準備委員会を立ち上げ、統合小学校の教育目標や通学方法等を協議・検討するなど、統合に向けた準備を進めていく考えです。

Q5 ユネスコスクールの取り組み状況と今後の展開を伺います。

A5 ユネスコスクールは、将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手を育む役割を担っていると考えています。

この教育の重要性について、各学校の理解が深まるよう取り組んでいく考えです。

Q6 教育支所の組織機構変更による業務内容を伺います。

A6 地域自治区の見直しに伴う支所との均衡を図りながら、現在、検討しているところです。

地域の特性を活かした地域づくりについて
 中心市街地で福祉・文化のまちづくりを具体化していくことについて

高柳 勝巳 議員



利根町平川堰

安倍政権の集団的自衛権行使容認の閣議決定に関連して消費増税及び景気回復についてインフルエンザ予防接種の助成について

井之川 博幸 議員



国民平和進行の様子

Q1 平川地域の小水力発電事業は高額な事業費ですが、私は、エネルギーの地産地消や地域の自立に役立てることは非常に重要で、むしろモデル地域化して、市内全体へ広げていくべき事業になり得ると考えます。
A1 発電規模は、198キロワットで、国の電力固定価格買取制度を利用し、20年間の売電収入を得ることで、市の財源確保と地域振興などを目的として進めてきましたが、工事費等の精査、経済性の再評価を行った結果、事業採算性は厳しく、このままでの事業継続は慎重にならざるを得ないと考えています。

Q2 鳥獣害対策としての総務省の推奨する「地域おこし協力隊」の活用について伺います。
A2 この事業は、過疎地域等における集落対策であると承知しておりますが、現行の鳥獣害対策の中で、協力隊が担える業務の調整などを要するため、他市町村の事例等を参考に研究していく考えです。

Q1 安倍内閣は「集団的自衛権行使容認」の閣議決定を行いました。市長の見解を伺います。
A1 国民への十分な説明及び国民的議論が必要と考えています。
Q2 市内でも自衛隊員の募集が行われていますが、若者が犠牲になるのではと考えますが。
A2 今後、関連する法整備についての議論を注視していきます。

Q3 沼田市議会は「集団的自衛権の行使容認しない」意見書を政府に提出しましたが、市長も提出をする考えがありますか。
A3 集団的自衛権については、今後、国会での議論が予想され

Q2 子育て支援拠点整備の現在の課題と、新たな施策展開などについて伺います。
A2 子育て支援拠点整備の現在の課題と、新たな施策展開などについて伺います。

Q3 子ども広場をはじめとした子育て支援拠点整備の現在の課題と、新たな施策展開などについて伺います。
A3 子ども広場をはじめとした子育て支援拠点整備の現在の課題と、新たな施策展開などについて伺います。

Q4 上毛新聞の消費税10%への増税に対するアンケート結果で、市長は、好況は実感できないという回答でしたが、その判断材料について伺います。
A4 本年4月の消費税率8%への引上げ後の消費の低迷と、円安による日用品や燃料代の高騰による家計への影響、地域経済における景気の好転が実感できない状況などを考慮して回答したものです。

Q5 円安・株高のアベノミクスでは、地方経済は回復しないの
A5 円安・株高のアベノミクスでは、地方経済は回復しないの

Q3 子育て支援拠点「子ども広場」は、移転拡充の検討を行っているところで、「子ども広場」を中心に、遊びのスペースの提供、家庭児童相談室との連携による相談室の設置や子育てサークル等が自由に使える活動スペース等を備えた子育て支援の拠点機能の充実を図ることが重要であると考えております。

Q4 最近の複合施設の中には、障害者の方々の運営するレストランや喫茶、福祉ショップ等が設置されていることが珍しくありません。障害者支援と就労や

Q6 逆進性の強い消費税に頼るのでは、市民平均所得が低い本市と平均所得が高い都市との格差が広がるばかりと考えますが、市長の見解を伺います。
A6 税制全体の中での税負担の均衡について検討されるものと考えています。

Q7 経済的格差は正についてはどのような対策を考え、実施していくのか伺います。
A7 農林水産業、商工業及び観

Q4 障害者が住み慣れた地域で充実した生活を送るためには、働きながら地域の人達とふれあう福祉ショップ・福祉カフェ等の、障害者の社会参加を促進する施設のNPOによる開設が望まれるところです。
Q5 歴史や文化の施設整備としての活用について伺います。

Q5 歴史や文化の施設整備としての活用について伺います。
A5 歴史資料館は、かねてから要望がありますが、条件整備が整わず、今日に至っています。文化的活用では、展示施設や舞台発表施設等が考えられます。

Q8 市民生活を守っていくためには、格差是正は福祉の施策での対応が必要ではないか。
A8 必要により福祉的施策での対応も考えられます。

Q9 インフルエンザ予防接種の子供への助成について、子育て支援や医療費抑制の面から実施する必要性を伺います。
A9 今後も検討していきます。
Q10 3歳児以上の保育園給食の完全公費化実施を求めます。
A10 今後も研究していきます。

日中活動の場等の拠点整備について伺います。

第5回 沼田市議会臨時会

議案第72号 土地及び建物の取得について

平成5年4月に、本市初の組合施行による市街地再開発事業により建設されたグリーンベル21を市民共有の資産として有効に活用するため、その大口所有者である合同会社メドテック・インベストメントⅡ及びⅢが、それぞれ保有する土地及び建物の取得について、議会の議決を求めます。

取得する土地及び建物の概要は、グリーンベル21・Ⅰ街区においては、建物敷地である土地5,544・44㎡のうち、合同会社メドテック・インベストメントⅡが保有する100万分の78万9,378を1億5,919万2,970円で、建物については、1階から6階までの共有店舗床2万271・46㎡のうち、同社が保有する100万分の85万4,615及び区分所有となっている6階事務所97・02㎡を1億9,605万4,825円で取得するもので、Ⅰ街区の土地及び建物の取得金額は、3億5,524万7,795円です。

す。

同じくⅡ街区においては、建物敷地である土地2,671・32㎡のうち、合同会社メドテック・インベストメントⅢが保有する100万分の88万9,278を5,373万7,549円で、建物については、1階の共有店舗床367・96㎡のうち、同社が保有する100万分の85万4,615及び区分所有となっている1階から7階までの駐車場1万1,439・38㎡を4,639万9,968円で取得するもので、Ⅱ街区の土地及び建物の取得金額は、1億13万7,517円です。

今回の契約による土地及び建物の取得費の総額は、4億5,538万5,312円です。

第6回 沼田市議会臨時会

議案第75号

沼田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

「官民格差の是正を図るため、月例給(平均0・3%)及び期末・勤勉手当(0・15月の引き上げ)という人事院勧告により、本市も改定を行うものです。

議案第76号 平成26年度沼田市一般会計補正予算(第7号)

本補正予算は、本年8月7日の人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じた措置を図るとともに、グリーンベル21の7階部分の取得に伴う経費を計上し、既決の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7,836万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ228億8,444万8,000円とするものです。

グリーンベル21の取得関連経費については、第7款商工費において、商業振興費で、まちづくり支援事業として、Ⅰ街区商業施設棟の7階宴会場部分の建物及びその敷地に相当する土地の取得に係る公有財産購入費及び施設管理費負担金4,373万円を計上するものです。

第7回 沼田市議会定例会

議案第88号

平成26年度沼田市一般会計補正予算(第9号)

本補正予算は、既決の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億4,858万5,000

円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ230億5,612万円とするものです。歳出における主なものとして、第7款商工費は、8,130万1,000円の追加ですが、商工総務費で、創業支援事業として起業を志す人が会社経営のノウハウなどを学ぶ場である「起業塾」の設置に向けた準備経費として、調査研究委託料などの計上、商店街まちづくり事業費補助金の追加、また、グリーンベル21に係る土地及び建物の取得に係る公有財産購入費及び付帯経費として施設管理費負担金などの追加です。

本請願の趣旨は、政府は、成長戦略である「日本再興戦略」などにおいて、リスク性資産割合を高める方向での年金積立金の運用の見直しを求めています。年金積立金は、日本経済への貢献が目的ではなく、厚生年金保険法等に基づき、専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すべきものであり、株式等のリスク性資産割合を高める方向での急激な変更は行わないこと。

また、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)において、保険料拠出者である労使をはじめとする利害関係者が参画し、意思反映できる管理体制を構築することが求められているため、政府関係機関への意見書提出を求めるものです。

公的年金は高齢者世帯収入の多くを占め、老後の生活保障の柱となっていることから、本請願の願意を理解し、意見書を出していくべきものと決定した次第です。

請願第8号 年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する請願書

民生福祉常任委員長 報告要旨

本請願の趣旨は、政府が「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、農業の成長産業化に向けて農協改革の推進を決定したことを受け、改革は自ら主体的に取り組むものであり、一方的な押しつけは、農業の生産現場や農業・農村地域に大き

請願第9号 JAグループの自己改革の実現に向けた請願

経済建設常任委員長 報告要旨

本請願の趣旨は、政府が「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂し、農業の成長産業化に向けて農協改革の推進を決定したことを受け、改革は自ら主体的に取り組むものであり、一方的な押しつけは、農業の生産現場や農業・農村地域に大き

な混乱をもたらすことが危惧されることから、JAグループの自己改革実現に向け、政府・国会に強く働きかけていただきましたというものです。

各委員からは、「国の改革はJAの解体を目的としており、地域の経済・雇用にも悪影響を及ぼす」という意見や「外からの一方的な改革ではなく、営農に注力し、資材等の安価な提供など、組合員のニーズや社会の変化に対応する自己改革を行ってほしい」といった意見が出され、本市のような中山間地域において家族経営をしている中小農家のためにも、国に対し意見書を提出すべきとの判断から「採択すべきもの」と決定した次第です。

**議案第97号
沼田市議会議員定数条例の一部を改正する条例について**

改正の内容は、次の一般選挙より、沼田市議会議員の定数を現行の22人から2人減らし20人とするもので、本市はこれまで、議員の定数については漸次減員を行い、平成23年の一般選挙から現行の22人としています。本市では、数次にわたって定数削減に取り組み、自ら経費削減

を図って行政に範を示す一方、少数精鋭による議会権能の充実に努めてきました。

今回の条例改正案の提出にあたっては、議会改革特別委員会を設けて、議会の権能強化、議員の質向上に取り組むとともに、会派代表者による協議を行ない、大方の意見統一が図られました。

議員定数を20人に改正することは、来期の議員が厳しい本市財政状況の中にあつて、議会の

県内類似自治体の議員報酬及び定数の比較

自治体名	議員報酬月額	政務活動費（年）	議員定数推移
沼田市	339,000円	120,000円	22人→20人
藤岡市	370,000円	150,000円	22人→20人
富岡市	360,000円	100,000円	21人→18人
安中市	360,000円	120,000円	24人→22人
みどり市	360,000円	120,000円	20人

役割を十分に果たすという決意を引き継いでいくもので、議員一人一人が一層自己研鑽を積み、さらなる少数精鋭に挑む覚悟を、市民に示すものです。

**議会改革特別委員会
経過と概要報告**

去る7月15日に、議員・議会活動のあり方やその役割と機能強化等について検討することを目的として「議会改革検討委員会」が発足されました。

構成委員は、議会運営委員8名と会派外の2名、合計10名として委員長に星野佐善太議員、副委員長に大島崇行議員が選出されました。

議会基本条例の策定について素案を作成する小委員会（A班）と議会基本条例の策定項目以外の議会改革（議会運営の改善等）に関する項目について検討する小委員会（B班）を設置し、議会改革について検討することとしました。

その後、8月には「地方議員のあり方と議会基本条例」を主題とした講演学習会を開催して理解の深化を図り、9月定例会では、「議会改革特別委員会」を設置し、検討委員会での検討

事項を継承し、さらなる議会改革に関する調査・研究を行うため、11月には、議会基本条例の先進地である千葉県市原市とタブレットを活用した議会運営の実践地である東京都立川市を行政調査で訪問して、認識の共有化に努めてきました。

11月27日開催の特別委員会で、小委員会（B班）の検討内容項目を全員で議論しながら、情報の共有化や共通認識の醸成を図ってきました。

今後は、次期改選後の議会での基本条例制定に向けて骨子を完成させていきます。

【検討項目】

- 本会議のインターネット中継録画配信
- ホームページの充実、傍聴規則の見直し
- 請願人及び陳情人の意見陳述の実施
- 予・決算特別委員会の審査の改善
- 予算審査における新規事業の説明書の導入

編集後記

沼田市中心市街地活性化事業が開始して約15年が経過しましたが、経済情勢の悪化により予算執行は43%と道半ばにも達していません。その間に、二核ワンモール構想の一つである西の核、グリーンベル21の問題は混迷を深めていましたが、10月に開催された委員協議会連合会において、その解決に向けて方向性が市当局から示されました。

そして、臨時議会及び12月定例議会により、公有財産としての購入が議決され、昨年12月には、グリーンベル21本体及び駐車場棟の土地と建物の全てが沼田市の所有となりました。さらに、東の核である、上之町天狗プラザの行政提案も出される見込みとなり進捗が期待されます。しかし、中心市街地活性化事業の全体の完成見込みはまだ不明ですが、事業の歯車が回りだして「一筋の光明」が見えて来たと感じております。

編集委員 石川 初雄

